

## 平成 27 年度繰越明許地方創生加速化交付金事業の概要

- 1 事業名称 富津市観光・しごと・移住推進プロジェクト  
-East Coast of Tokyo Bay-
- 2 事業費 77,300 千円（財源 国庫支出金 100%）
- 3 事業推進主体 （仮称）NPO 法人 富津市プロモーション協議会  
（構成員 NPO 法人、公益財団法人等）
- 4 事業実施期間 平成 28 年 3 月から 29 年 3 月まで
- 5 概要

## (1) 今回の取組

- ①東京湾フェリーと JR 浜金谷駅を結ぶまちの中心に観光ビューロー（観光、生活支援拠点）を設置し、外国人を含めた観光客、サテライトオフィス誘致、二地域居住など相談窓口を一本化し、市南部からの新しい人の流れをつくる。
- ②北部にビジネスビューロー（相談窓口）の拠点を整備し、金融機関とともに工業団地などの企業立地適地と業種のマッチングを支援するとともに、海のレジャーに関連した創業をも呼び込み、地域にしごとを創出することで、市北部からの新しい人の流れをつくる。
- ③南北拠点を機能的に連携させるプロモーションプラットフォームの構築により、市の南北のそれぞれの強みをつなげる観光情報、しごと情報、住まいの情報の一元化を確立し、わかりやすく提供する。

## (2) 効果

房総南部の観光の玄関口である金谷と利便性の高い市北部のそれぞれ異なった強みのある南北 2 拠点を整備するとともに、その拠点を機能的に連携させるプロモーションプラットフォームを構築し、情報発信することにより、「点」として存在する地域資源の魅力が「面」としてつながり、観光来訪者を移住に結びつけ、企業誘致により雇用を創出し、しごとから移住に結びつけることができる。

## (3) 自立性、連携、協働

- ・次年度以降、運営主体の自主財源による自立化を目指す（自立性）。
- ・行政はつなぎ役で、実施主体は民間（官民連携）
- ・地場産業振興、観光振興、スポーツ振興、企業誘致、移住連携（政策間連携）
- ・房総南部地域観光情報提供のワンストップ化等（地域間連携）

## (4) 重要業績評価指標（H29.3）

- ①市内観光入込客数 H26 年 2,146 千人 → 2,200 千人
- ②企業誘致件数 H27 年 0 社 → 1 社

③転入者数 H24・25年平均1,281人 → 1,290人

## 5 事業内容

### ①南部観光ビューロー(房総南部観光ワンストップ・生活支援拠点整備)

- ・旅行者ワンストップ・事業者シェアワークス・ワークショップスペース
- 拠点整備
- 観光コース作成
  - ・市の強みを中心とする富津以南の楽しみ方を可視化
  - ・観光資源調査、企画・立案、マップの作成・印刷、広告
- 国際化拠点
  - ・外国人移住体験のためインフルエンサー招聘、情報発信
  - ・インバウンド着地型観光ガイドの養成

### ②北部ビジネスビューロー(相談窓口・観光案内)

- ・旅行者ワンストップ、事業者シェアワークス、ワークショップスペース
- 拠点整備
- 企業誘致支援
  - ・企業誘致適地の調査、進出可能性のある業種の調査、掘り起こし
  - ・マッチングフェアの開催
- 異業種ネットワーク
  - ・農業、漁業、観光、婚活、移住促進にかかわる事業者でワークショップの開催、しごと、移住などに関する課題に取り組むため諸会議、情報を共有
  - ・市内企業就職合同説明会の開催

### ③プロモーションプラットフォーム構築、運用

- ・市に関するすべての情報を共有し広く周知し、市の一体化及び房総南部の総合的な観光、移住促進
- ・市内の空き家、空き地のデータベースの情報管理
- ・生産年齢世代を対象に市内案内ツアーの実施
- ・農協、漁協等との連携による自然を売りにした体験型イベント